

介護事業における業務効率化をデジタル化によって推進。施設利用者の情報の共有や、職員間のコミュニケーションを促進する機能をノーコードツールによって実現し、有効性を検証。

株式会社ナカヤ				https://nakaya-fudousan.co.jp/	
本社所在地	出雲市浜町1141-1	資本金	300万円	事業概要	宅地分譲地の作成、不動産仲介業、不動産管理業、住宅型有料老人ホーム運営、通所介護、訪問介護、訪問看護
代表者名	中島浩司	従業員数	25名		
設立年	2008年	業種	介護業		

背景

- 当社では介護事業を営んでいるが、人員不足と経費圧迫の中で業務を遂行するためには、業務効率化が不可欠であると考えている。
- 人的・オペレーションミスを防止するためは、引継ぎや連絡事項を正確に共有する必要があると考えており、発生原因を調査したうえで、引継ぎメモや作業手順書の作成を行いたいと考えている。
- 新人や経験の浅い従業員向けに、分かりやすい手順書やマニュアルを作成し、FAQを共有することにも取り組みたいと考えている。

計画の骨子

課題の整理と解決策の検討

- ▶ 介護事業の現場の問題点をリストアップし、それらをもとに解決すべき課題を設定。
- ▶ 複数の課題を解決できるデジタルツールを検討し、ITリテラシーが低い職員でも、簡単に機能変更や機能追加できることから、試行ツールとしてノーコードツール『kintone（サイボウズ社）』を選定した。

有効性の検証と検討課題の抽出

- ▶ 施設利用者や入居者に関する情報をスマホからも確認できるようにしたり、職員がやるべきタスクの進捗を確認できるようにしたりし、業務上の有効性を確認した。
- ▶ 運用上の課題も抽出し、今後の検討課題として整理した。